

の2工場へ展開し、その後、順次展開する予定。また、さらなる業務効率化に向けて、社内書類とシステムとの自動連携に関する開発も進める予定だ。

原材料在庫管理を効率化

画像認識 AI活用 業務時間9割削減

大林道路と神戸大

大林道路は、アスファルトプラントにおけるストックヤード在庫管理システムの運用を開始した。原材料（骨材、砂）の在庫管理に関する負担軽減に向けて、同社と神戸大学が画像認識とAI（人工知能）を活用して数量を算出するアルゴリズムを共同研究で

開発し、その成果をシステム

を開発し、その成果をシステム

を開発し、その成果をシステム

を開発し、その成果をシステム

を開発し、その成果をシステム

を開発し、その成果をシステム

を開発し、その成果をシステム

を開発し、その成果をシステム

ことを確認した。

原材料は資産のため、厳格に管理することが必要となる。原材料の棚卸では、職員

がテープ、スタッフなどを利用して体積を算出しており、

高く積み上げた材料の山を上り下りしながら整形して寸法

を計測していることなどから、確認作業と資料整理に2

人で1日の時間を要することが課題となっていた。

同システムは、ストックヤードの屋根の中心にカメラを

1台設置し、壁面に設置した



1ヤード当たりの表示内容

